

一 般 質 問

加藤議員

中学校の統廃合について

問 昨年11月開催の市長となんでも語ろう会で、2校案の場合、中部中学校の生徒の一部を南部中学校に入れ、生徒数のバランスをとれないかという質問に、市はその場合、成器西小学校の生徒も分けることとなり議論が必要としている。

①今後、中学校の統廃合の進め方はどうするのか。

②2校案の場合、成器西小学校の校区を変更してまで生徒数を同数にするつもりか。

答 ①今後は1校か2校かに焦点を絞り議論を深めていきたい。そして、24年度中にはその結論が得られるよう取り組んでいきたい。

②まず、1校にするのか2校にするのかということを十分吟味していかなければならない。その判断をする過程で、生徒数の問題をどうするかということは検討の一つの材料になろうと思う。

福井社会保険病院について

問 福井社会保険病院は、売却を目的にしたRFOによって運営され

その他の質問
 ・原発問題について
 ・消防体制の充実について
 ・新体育館建設について
 ・北谷地区の活性化対策について

ているが、来年9月には期限が切れる。私たちも公的存続へ向けて国へ要請する。

①福井社会保険病院の公的存続を求めて国へ強く働きかけるべき。

②福井社会保険病院では、相変わらず産婦人科医が1名で、市内でお産ができない。市としても支援が必要である。

答 ①今通常国会に独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構法の一部を改正する法律案が提出されるとい喜ばしいニュースが入ってきており、局面を打開する大きな前進と捉えている。

②福井社会保険病院と連携し専門医の確保を目指して取り組んでいきたい。



松村議員

勝山城博物館の位置づけについて

問 勝山城博物館は、博物館法に定められた博物館であり、その更なる利活用が望まれる。勝山市は現在、当該博物館と連携のあり方について協議中であるが、その前提として、勝山市が当該博物館をどのように位置付けるのか。その所見を伺う。

答 まちなか誘客の拠点となる、はたや記念館ゆめおれ勝山と白山平泉寺を結び重要なルート上にあることから、利活用の方法によって重要な施設となる可能性があると考えている。

そのため市民や来訪された方にとって勝山市の悠久の歴史や文化にふれる場所にしていきたいという基本的な考えをもっている。

恐竜博物館来館者の定量・定性的調査

問 県立恐竜博物館は年間50万人を超える利用客があり、市内商工業者の中にもこの利用客を観光資源として新規事業に乗り出したい意向を持つ者もいる。しかし、50万人強の観光客の消費ニーズをつか

みきれないため、実際の事業化に至った事例は少ない。緊急雇用を利用し、福井県・勝山商工会議所・関西学院大学と連携しながら50万人を対象として定量的・定性的調査を長期にわたって実施すべきと考える。所見を伺う。

答 長期的な調査については、観光プロデューサーが配置された後に、もう一度研究機関とも十分協議した上で手法を考えていきたい。

連携については商工会議所、恐竜博物館の設置者である県、ご提案の大学等、しかるべき研究機関と連携し、詳細な調査をする必要があると考えている。

